

ユーゲント・フィルハーモニカー
第3回定期演奏会

Jugend Philharmoniker The 3rd Regular Concert



The 3rd Regular Concert

Wilhelm Richard Wagner

ワーグナー / 楽劇《ニュルンベルクのマイスタージンガー》
第一幕への前奏曲

Ludwig van Beethoven

ベートーヴェン / 交響曲第8番 へ長調 Op.93

- I Allegro vivace e con brio
- II Allegretto scherzando
- III Tempo di Menuetto
- IV Allegro vivace

— 休憩 —

Johannes Brahms

ブラームス / 交響曲第4番 ホ短調 Op.98

- I Allegro non troppo
- II Andante moderato
- III Allegro giocoso
- IV Allegro energico e passionato

指揮 田中 一嘉

※ 開演中は携帯電話の電源をお切り下さい。

※ 他のお客様のご迷惑となりますので、演奏中のお席の移動はご遠慮下さい。

● ご挨拶 Greeting ●

本日は、ユーгент・フィルハーモニカー第3回定期演奏会にお越し頂き、誠にありがとうございます。

今年度、私たちは「社会にオーケストラがどのように貢献していけるか」という理念のもと様々な試みに挑戦し、この度第3回の定期演奏会を開催する運びとなりました。今回の演奏会では、昨年からさらに「成長」することを目標の一つとし、前回に引き続き田中先生のご指導のもと練習に取り組んで参りました。

さて、今回私たちが取り上げますワーグナーとブラームスは、ベートヴェンから兆しを見せたロマン派音楽の「二大派閥」と考えられています。19世紀の「古い音楽」をJugend Philharmoniker（青年たちのオーケストラ）が演奏するのは一見すると逆説的ですが、ロマン派音楽は19世紀の「新しい音楽」でもあり、時代を越えて出会った私たちの「若さ」とこの「新しさ」が作り出す響きを楽しんで頂けますと幸いです。

最後になりましたが、ユーгент・フィルハーモニカーの運営にあたってお力添え頂いた全ての皆様にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

● 指揮者紹介 Conductor ●

Kazuyoshi Tanaka
田中 一嘉

東京生まれ。桐朋学園大学音楽学部卒業。指揮を故斎藤秀雄、小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明の各氏に師事。コントラバスを江口朝彦、堤俊作の両氏に師事する。在学中より同大オーケストラ定期演奏会、オペラ公演等を指揮し、故斎藤秀雄、森正、秋山和慶の各氏及びブロードス・アール氏、河野俊達氏、フランコ・フェラーラ氏らの指導を受ける。学外では、日本オペラ協会、長門美保歌劇団、東京アカデミー合唱団指揮者として、数多くのオペラ、合唱曲、特に宗教音楽分野での実績を積む。76年、大学在学中に、第4回民音指揮者コンクール（現東京国際音楽コンクール）入選。奨励賞受賞。卒業後、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団指揮者。群馬交響楽団指揮者を歴任。これまでに、東京交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、札幌交響楽団、九州交響楽団、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉、オーケストラ・アンサンブル金沢等、日本の主要オーケストラを指揮する。92年にはヤナーチェク春の音楽祭（チェコ・オストラヴァ）にてヨーロッパデビュー。95年にはカルロビ・ヴァリ交響楽団を指揮。00年ドイツ・ロットヴァイル夏の音楽祭。01年ベルリン日本週間での公演。03年ウィーン・ムジークフェラインザールでの日墺合同第九演奏会等その活動は多岐に及んでいる。88年より昭和音楽大学講師。



● 楽団紹介 Orchestra ●

Jugend Philharmoniker
ユージェント・フィルハーモニカー

Jugend Philharmoniker（ユージェント・フィルハーモニカー）は、財団法人「日本青年館」の音楽行事（オーケストラ・フェスタ、全国高等学校選抜オーケストラ・ヨーロッパ公演、日本ユング・オーケストラ・ヨーロッパ公演）に参加したメンバーが中心となって2006年3月に創設されたオーケストラである。



選抜オーケストラが母体となっているため、メンバーは様々な大学オケ出身のプレイヤーが揃っている。現在、団員約80名を越えるオケにまで成長し、定期演奏会を中心とした活動の他に、福祉施設や普段生のオーケストラに触れる機会のない農村への訪問演奏、その他、行楽施設の各種イベントやテレビ番組での依頼演奏など幅広い活動を行っている。

音楽的に人間的に成熟した団体作りに励みながら「アマチュア・オケだからできること（≡プロオケには出来ないこと）」を追求することを理念としている。

Wilhelm Richard Wagner

ワーグナー / 楽劇《ニュルンベルクのマイスタージンガー》第一幕への前奏曲

楽劇《ニュルンベルクのマイスタージンガー》は、歌合戦という同じ素材を持つワーグナーの悲劇《タンホイザー》と対を成す喜劇であり、ワーグナーが書いた唯一の喜劇でもある。しかし、ワーグナーはこの楽劇の作曲に取り掛かっていた頃、即ち1861年からの約3年間、生涯で最も貧窮を極めた時期を迎えていた。1864年に強力なパトロンとなったバイエルン王フリードリヒ二世に彼は、この作品が「深い憂苦や嘆きに満ち、新しい人間に生まれ変わろうとしてもだえ苦しむ叫びを心に秘めている」と述べた。つまり、ワーグナーにとってこの楽劇は単なる「コミック・オペラ（喜歌劇）」ではなく、主人公ザックスをしてドイツの伝統の維持と革新とを体現せしめるための作品だったのである。彼は芸術が社会の中で占めるべき重要性をこの劇の主題の内で主張した。これは、彼が参照したシラーの「政治的な国家がぐらつけばぐらつくほど、精神の国はいっそう堅固に、また完全になっていく」という詩の一節をみても明らかである。

当時のウィーンでは、音楽美学者のエドゥアルト・ハンスリックという人物が有力な批評家として名を馳せていた。彼は絶対音楽（文学や絵画など、音楽以外の表現を伴うことなく、音楽に固有な原理に基づく芸術表現を目指すもの）への傾倒からワーグナーを否定するようになるが、その発端は楽劇《ニュルンベルクのマイスタージンガー》に起こったともいえる。ワーグナーは頭の固いハンスリックを念頭に置き、因習にとらわれた頑迷な人物を劇中に登場させた。これは今回演奏する序曲の中盤で木管楽器によって表現されるので、探してみるのも一興だろう。これに腹を立てたハンスリックはその後ブラームスの音楽を拠り所とし、彼をベートーヴェンの正統な後継者として持ち上げることになる。しかし、実際はブラームス自身にワーグナーへの敵対意識はなかったようである。

付言すると、ワーグナーは自らをベートーヴェンの後継者とみなしており、それは1870年の『ベートーヴェン』という論文に結実している。これは単なるベートーヴェンの作品論ではなく、ベートーヴェンの精神論について論じたもので、ワーグナーが彼の美学としてベートーヴェンの音楽を規範としていたことが窺える。 (T.G.J)

Ludwig van Beethoven

ベートーヴェン / 交響曲第8番 へ長調 Op.93

1813年4月20日、交響曲第7番と期を同じくして初演され、ベートーヴェン自身は非常に気に入っているにも関わらず、初演・現代ともに聴衆からは好評を得られず、なかなか演奏されない交響曲第8番。初演の評価が悪い、というのはブラームスの交響曲第4番との共通点でもある。ちなみに弟子のチェイニーの「なぜ、第8番は第7番より有名にならないのか」という問いに、ベートーヴェンは「第8番の方が、格段に出来が良いからさ」と飄々と答えたらしい。

初演当時、すでに難聴が悪化していたベートーヴェンだが、楽曲は華やかさを湛えている。楽章全体に生命力が溢れ、未来への希望は大きい。「音」でこれほど鮮烈な「色」のイメージを与える交響曲を私は知らない。この翌年から彼の人生は「後期」を向かえる。社会情勢の変化から多くの友を失い、更なる難聴の悪化に悩まされ、絶望する。そんな未来が待っていようとは、この楽曲からは予測できない。

さて、この交響曲の大きなポイントは全体のアンサンブルと第2楽章である。大きな流れに身を委ねながら、耳をよく澄まし、アンサンブルに注目していただきたい。また、第2楽章は故朝比奈隆氏も自身の著書で「音楽の歴史上、こんなシンフォニー楽章は二つとないでしょうな」と述べるほどの楽章である。それでは、若く才能溢れる団員たちの『究極のアンサンブル』をとくとお楽しみあれ。 (ぱげ)

ブラームス/交響曲第4番 ホ短調 Op.98

突然だが、あなたは『リンゴの唄』をご存知だろうか。椎名林檎の『りんごのうた』ではない。終戦後初の映画の主題歌であり、「戦後のヒット曲第1号」と言われた楽曲である。多くの方は『リンゴの唄』がいつの曲と言われなくともそれを聴けば「古めかしさ」や「懐かしさ」を感じるだろう。そして、少なくとも今現在の流行曲でないことに気づく。これは何も『リンゴの唄』に限ったことではない。現代を生きる多くの方は、昭和初期の歌謡曲を聴けば大概の楽曲に対してそのような感想を持つだろうし、さらに言えば、昭和初期の人が同様の感じ方をする楽曲もあるに違いない。「歴史は繰り返す」のだ。ブラームスの交響曲4番も、例に漏れずその洗礼を受けた楽曲の一つだろう。だが、この交響曲にはさらに特殊な点が一つある。初演された当初の聴衆らが「古めかしさ」を感じたのだ。その「古めかしさ」について考えてみたい。

楽曲がどのようなものを特徴付ける要素の一つに「音階」がある。例えば、日本の音楽は演歌や民謡などを中心にヨナ抜き音階「ド-レ-ミ-ソ-ラ-ド」という音階に特徴付けられるし（ドレミファソラシドの4番目/7番目の音を抜かす）、沖縄音楽は「ド-ミ-ファ-ソ-シ-ド」という琉球音階によって特徴付けられる。これら音階によって我々はその音楽をカテゴリ化する。さて、交響曲第4番の第2楽章ではフリギア音階というカトリック教会の聖歌で使われた教会旋法【譜例1】を用いているが、これは18世紀には既に廃れてしまっていたものである。ブラームスはなぜこの「古い」旋法を取って用いたのだろうか。



【譜例1】ホ長調の音階（左）とフリギア音階（右）

また、楽式（音楽の形式）も一つの重要な要素である。例えば、歌謡曲ではイントロ/Aメロ/Bメロ/サビなどの部分が全体を構成するが、これも一つの楽式である。交響曲第4番の第4楽章はシャコンヌ形式と呼ばれる楽式を持つ。シャコンヌ形式とは同じ和声進行または低音主題が変奏されながら繰り返される3拍子の舞曲であり、バッハなどの生きたバロックの時代に全盛を極め、19世紀後半には既に「古いもの」として廃れていたものである。ブラームスはバッハのカンタータ150番「主よ、われ汝を求む」のシャコンヌから主題を引用し、これを基に書き上げた新しいシャコンヌがこの第4楽章に相当する。しかし、なぜ「古い」楽式を取って用いたのだろうか。



【譜例2】カンタータ150番冒頭（上）と第4楽章シャコンヌ主題（下）

ブラームスが生きた時代は、形式美を追い求めた古典派の終わりであり、人間の内面を映し出すロマン派の始まりでもあった。新しい風が吹く時代の中で懐古に走る、これは何も特別なことはない。椎名林檎の『りんごのうた』の流れる現代でYouTubeから聴こえる『リンゴの唄』を聴く、そんな感覚だったのだろう。新作なのに「古めかしい」のは、ブラームスの時代にYouTubeがなかっただけのことかもしれない。

(rinsan)

● 活動紹介 Activity ●

今年度の主な演奏活動です。

3/22 第2回定期演奏会
大田区民ホール アプリコ

難病や障がいを持つ子ども達とその家族を閉園後の動物園へ招待する世界的なイベント「ドリームナイト」にて子どもたちに木管五重奏の演奏を届けました。



6/7 ドリームナイト・アット・ザ・ズー
横浜市立金沢動物園

2008

6/15 Melody Drops 「天使の音楽会」
川崎市立養護学校

障がいを持つ子ども達への音楽療法に取り組んでいるグループ「Melody Drops」主催のイベントで弦楽四重奏と木管五重奏の演奏を行いました。

ヘリウムガスの中でオーケストラの音色が普段とどう変わるか、日本テレビが放送した24時間テレビの中の「実験の嵐」というコーナーで生放送の実験を行いました。各楽器1本ずつの小編成による「となりのトトロ」が全国に流れました。

8/18 わになろうの会 「夏休みを楽しく過ごす会」
川崎市立養護学校

NPO法人「わになろうの会」主催の障がい児向けイベントで音楽劇「オズの魔法使い」の伴奏をしました。

8/30 24時間テレビ「実験の嵐」
日本テレビ



9/13-15 第1回農村プロジェクト
長野県武石地区

普段生のオーケストラに触れられない農村に行き、中学生との合同練習や農作業の体験など地元の方々と交流をはかり、最終日にオーケストラによる演奏会を開きました。



9/26 慰問演奏会
介護老人保健施設 秀眉園

2009

1/9 慰問演奏会
特別養護老人ホーム しらさぎホーム

3/21 第3回定期演奏会
めぐろパーシモンホール

依頼演奏

ユージェント・フィルハーモニーでは学校・老人ホームなどの福祉施設や、その他各種イベントなどでの依頼演奏を受け付けています。詳しくは当団Webサイトをご覧ください。

■ Webサイト <http://jugend-phil.com/>

Jugend Philharmoniker
The 3rd Regular Concert
2009.3.21 (Sat.)
at Meguro Persimmon Hall

ユーゲント・フィルハーモニカー
第4回定期演奏会のお知らせ

2010年3月21日(日) 夜公演
於 文京シビックホール 大ホール
曲目未定

- 後日ご案内をお送りしますので、アンケート用紙にご連絡先をご記入下さい。
- お問い合わせ <http://jugend-phil.com/> (当団Webサイト)